

**オホーツク農山漁村活用体験型
ツーリズム推進協議会**
(網走市・農泊)

オホーツク総合振興局

【協議会の特徴・理念】

組織的に網走地域の一次産業と連携した新たな観光業を生み出し、インバウンドや道外の多くの個人観光客にも対応できるような観光メニュー開発、窓口機能、広報活動を行える組織構築を目指す。

【地域の概要】

① 自然環境

世界自然遺産の知床などに囲まれた網走国定公園の中心に位置。知床連山を眺望できる天都山やオホーツク海、ラムサール条約登録湿地の濤沸湖などがある。

② 人口

網走市: 34,696人
(令和2年9月現在)

③ 主な産業

農業、漁業、観光業

農業は道内有数の畑作地帯であり、漁業もシジミ、ワカサギなど道内有数の水揚げ量を誇る。また、観光入込客数(H29)は年間約160万人で、宿泊客は38万人(約30%)流氷が滞在する冬期間の入込客数が多い。

④ イベント等

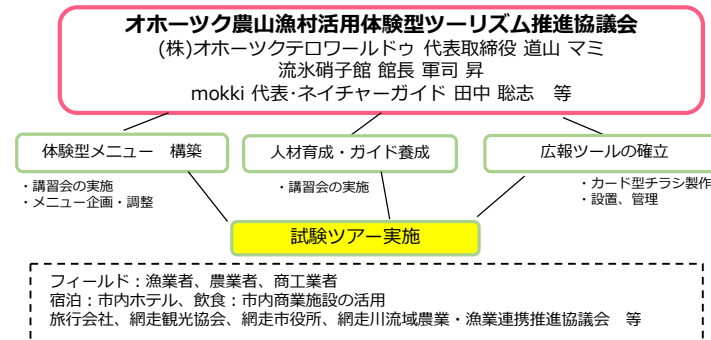
あばしりオホーツク流氷まつり

【協議会の概要】

① 設立年

平成30年

② 構成員・代表者(又は団体)



③ 協議会設立の経緯(きっかけ)

オホーツク地域は、観光産業が盛んな地域でありながら、一次産業のフィールドを活用した体験型のメニューや、生産者、食文化を紹介するツールが確立しておらず、メニュー作りやガイドなどの人材育成を積極的に行う中核的組織が存在しなかったため。

④ 協議会の活動内容

農業、漁業、地域の歴史、営み、風景を体験できるメニュー・ツアーを企画し、拠点施設 コネクトリップ等で情報発信を行い、旅行会社等と連携して、滞在型旅行を推進する。

⑤ 現在の課題

- ・ 周辺の宿泊施設との連携
- ・ 集客方法(ホテルでの集客やSNSの活用など個人旅行者をどこまで集客出来るか。)
- ・ 新型コロナ対策を含めた受入体制

【主なコンテンツの種類及び実績(過去3カ年程度)】

① 協議会に参画する宿泊施設における軒数、宿泊者数

年度	宿泊施設軒数(軒)	延べ宿泊数(人)
H30	30	354,732
R1	30	338,262
R2上期	-	-

② 体験者数(人)

年度	農林漁業体験	食体験	自然体験	文化体験	その他	延べ体験者数
H30	62	28		2		92
R1	177	157	400	2	39	775
R2上期			149			149

③ 利用状況

【利用者の状況】(令和元年度)

- ・インバウンド 30%
- ・国内 70%

【利用者の声】

- ・ ハイキング、カヤックツアーに参加。普段見ることのない網走湖や憧れのカワセミも見ることが出来、楽しいツアーだった。
- ・ スノーダッキーを体験。日頃の疲れも忘れて楽しかった。
- ・ たまねぎの皮で染め物体験楽しかった。また行きたい。

【特徴的な取組】

＜人材育成に関する取組＞

- ガイド育成セミナーの開催
- 食を伝える講師育成セミナーの開催
- 地域産業×観光を考えるセミナー等の開催

＜情報発信に関する取組＞

- カード型情報発信ツールの設置
 - ・ 道の駅、ホテル等に、体験施設、アウトドア体験メニュー等をカード型にして設置。
 - ・ カードにはQRコードが記載されており、アプリと連動が可能。
- 体験・交流拠点施設 コネクトリップ開設
 - ・ 地域産業、歴史、民俗、観光地等connect(コネクト)したtrip(旅)を提案する拠点として開設



体験・交流拠点 コネクトリップ

＜体験メニュー・試験ツアーに関する取組＞

- 体験ツアー
 - ・ 知床連邦を望む雄大な畑散策&地元産小麦粉を使ったピザづくり体験コース
 - ・ 鮭の遡上&いくら醤油工場見学、握り寿司体験昼食付きコース
 - ・ 網走湖カヌーorカヤック体験&大曲園地野菜収穫体験コスモス畑散策コース



ピザづくり体験



カヤック体験

- 体験メニュー
 - 郷土料理体験、いも・カボチャ・でんぷん団子づくり、地元大豆を使った豆腐作り、ヒンメリ作り、玉ねぎの皮で染め物、羊毛フェルト作り等



団子づくり体験



酪農家見学

【連絡先】

代表窓口：オホーツク農山漁村活用体験型ツーリズム推進協議会
(事務局 担当：道山 TEL:090-3317-2687)